



沖縄県宗務推進会議

第2回沖縄県宗務推進会議 第1回住職・主任会議

6月19日(木)午後7時、沖縄別院にて2025(令和7)年度第2回「沖縄県宗務推進会議」を開催しました。中岡順忍宗務事務所長の挨拶、高木正敏推進会議会長挨拶があり、引き続き事務局が財務承認議案5件・法規議案1件の説明を行い、全会一致で全議案が承認・可決されました。



《2025夏・第127号》
発行 浄土真宗本願寺派 沖縄県宗務事務所
発行人 中岡順忍
〒900-0005
沖縄県那覇市天久2-18-2
電話 (098) 860-7009
ファックス (098) 860-7469
mail ameku2182@yahoo.co.jp

住職・主任会議

5月8日(木)に開催した第1回「住職・主任会議」において、熊本教区長洲組西養寺住職が特区内での活動拠点設置届を未提出に

また、以下の事務連絡の後、開会しました。
(一) 太平洋戦争全戦没者・沖縄戦終戦80年追悼法要について
7月3日(木)に沖縄県営平和祈念公園においてご門主さまご臨席にて修行する本法要について、参拝申込状況の報告並びにスタッフ協力依頼等を行った。
(二) 第45回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要について
本年9月18日(木)の第45回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要の修行内容が決定したので、本法要への参拝奨励および「平和の鐘」撞鐘の実施依頼を行った。



もかわらず寺院活動をしている実態があり、特区内で混乱が生じていることが議題に上がりました。特区内

寺院が活動に支障をきたしていることについて協議・意見交換をし、組長職務を筆頭とした抗議文を当該寺院住職と熊本教区教務所へ送付することとなりました。
また、このたび菊城元明組長職務から、抗議文を送付するにあたり賛同いただける住職・主任の署名をお願いしたい旨、ご依頼されました。



開会式のあと、初の議案審議がはじまった



挨拶する→新垣会長

沖縄県宗務特別区門徒総代会総会

総代会、発足後、初の総会を開催
昨年度の活動報告と会計決算
今年度は研修と相互連携等を行う

5月18日(日)午後12時50分から、沖縄別院本堂において2025(令和7)年度「沖縄県宗務特別区門徒総代会総会」を開催しました。総代会は昨年9月に発足し、初の総会でした。

開会式では、根原八十和さん(平成寺)の調声による「重誓偈」のお勤め、中岡順忍所長・新垣一馬会長(平成寺)の挨拶があり、議案審議に入りました。

会則に基づき、石川八代子さん(沖縄別院)を議長に選出し、「2024(令和6)年度活動報告・会計決算」、「2025(令和7)年度活動計画(案・会計予算(案)」についてそれぞれ審議し、全会一

ハッピー!! 沖縄へようこそ

6月7日(土)に仏婦総連盟幹部研修会の皆さん、8日(日)に本派関係学校同和教育研究会の皆さんが沖縄別院を参拝されました。お念仏の声があふれる中、沖縄の歴史・別院の沿革など学び多き1日となったことを喜んでおられました。

沖縄別院では今後も皆さまのご参拝をお待ちしています。

致にて承認・可決されました。

今年度の主な活動としては、門徒総代会の研修会を開催し、各総代の研鑽を深めるとともに相互の連携・親睦を築くことを総会で確認しました。

閉会式では「恩徳讃」を唱和し、和やかな雰囲気の中終了しました。



本派関係学校同和教育研究会の皆さん



仏婦総連盟幹部研修会の皆さん

6月23日は沖縄県が条例で制定した記念日で、沖縄戦等における戦没者を追悼する「慰霊の日」です。沖縄では各地で追悼のための行事が行われます。

慰霊の日 全戦没者追悼法要

今年も沖縄別院・久米島布教所そして周辺自治会等で、「慰霊の日 全戦没者追悼法要」をお勤めしました。

沖縄別院と久米島布教所では追悼法要をお勤めし、正午に非戦平和を思い参拝の方々と平和の鐘を鐘打しました。

慰霊の日

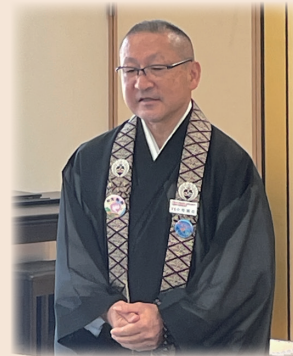
6月23日は沖縄県が条例で制定した記念日で、沖縄戦等における戦没者を追悼する「慰霊の日」です。沖縄では各地で追悼のための行事が行われます。

沖縄別院他で追悼法要

今年も沖縄別院・久米島布教所そして周辺自治会等で、「慰霊の日 全戦没者追悼法要」をお勤めしました。

また昨年と同様、久米島町、仲西自治会、屋富祖自治会、安波茶自治会から追悼法要のご依頼があり、それぞれの慰霊碑前でお勤めさせていただきました。

今年は戦後80年です。沖縄戦当時を知る方が少なくなり、実体験の悲しみを語ってくださる人が減る中、世界各地では戦争が絶えません。次世代に非戦平和の思いを継いでいかなければならないと思いを新たにしました。



沖縄別院での追悼法要で全戦没者をいたみ、非戦平和のご法話をする中岡輪番



沖縄各地での追悼法要。仲西自治会（左上）。久米島町（右上）。安波茶自治会、写真中央は挨拶する松本哲治浦添市長（左下）。屋富祖自治会、学生による追悼の言葉の様子（右下）。



御同朋の社会をめざす運動（実践運動）

特区委員会・推進研修会で研鑽



推進研修会で挨拶をする中岡輪番

◆実践運動 沖縄特区委員会

5月17日（土）午後6時から沖縄別院多目的室にて、2025（令和7）年度第一回「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）沖縄特区委員会を開催しました。沖縄特区の実践目標である、

- （1）貧困の克服に向けて
- （2）寺院の活性化をめざして
- （3）「非戦平和」をはじめとする社会的課題の取り組み

について、委員の皆さんと協議しました。

沖縄特区ではこの（1）～（3）を目標に、全か寺・布教所が参画して実践運動を推進していきます。

◆実践運動 推進研修会

続いて7時から、本堂にて2025（令和7）年度第一回「実践運動推進研修会」を開催しました。ご講師は、東京教区芝組光明寺衆徒、武蔵野大学客員教授、カンファ・ツリー・ヴェリッジ統括プロデューサーの松本紹圭師。世界経済フォーラムに講師として参加するなどグローバルな活動をされています。講義は「現代の布教について」をテーマに、ご自身が邦訳されたローマン・クルツナリツク著『グッド・アンセスター…わたしたちは「よき祖先」になれるか』（あすなろ書房）の書籍内容 exchanges、寺院の活性化につながるお話をされました。

松本師はプロジェクターを用いて話され、参加者からは、「動画資料が充実していて、わかりやすかつ



松本師は画像を示しながら話され、研修会参加の皆さんは引き込まれるように聞き入った

たです」「普段の法話ではあまり聞けない哲学的なお話は勉教になります」などの声がきかれました。